

# code39セットアップパラメーター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0EH1	フルアスキー 読み取りなし (D)
 %EH0	フルアスキー 読み取りあり
 %0E80	イタリアン フォーマシー コード32 読み取りなし (D)
 %0E88	イタリアン フォーマシー コード32 読み取りあり (D)



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存






# code39セットアップパラメーター2

チェックディジット伝送

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0EM2	チェックディジット 検査なし (D)
 %0EM6	チェックディジット 検査あり送信あり
 %0EM4	チェックディジット 検査あり送信なし



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



# code39セットアップパラメーター3

スタート/ストップキャラクター

1. 設定の開始



2. 使用するモードを選択

設定コード	説明
 %0E40	スタート/ストップ キャラクター 送信なし (D)
 %0E44	スタート/ストップ キャラクター 送信あり



※(D) はデフォルト設定

3. 設定の終了



4. 設定を保存



# code39セットアップパラメーター4

読み取りコードの長さを設定する

下記の設定で指定した文字数のバーコードのみを読み取ることができます。

## 1. 設定の開始



## 2. コードの長さ設定



## 3. 設定に応じて下記のコードを読みます。

### ・固定長読取桁数1



### ・固定長読取桁数2



### ・最小読み取り桁数



## 5. 下記の設定確定コードを読み取ります。

※ ここでは「2.」で選んだ数字に応じてコードを読み取ります。  
「固定長読取桁数1」を設定した場合、下記でも「固定長読取桁数1」の確定コードを読みます。

### ・固定長読取桁数1



### ・固定長読取桁数2



### ・最小読み取り桁数



## 6. 設定の終了



## 7. 設定を保存



## 4. 下記の設定用コードを読み取ります。

※例 10桁なら「1」、「0」の順で読み取ります。

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

